

## メバチ 大西洋

Bigeye Tuna, *Thunnus obesus*

## 管理・関係機関

大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)

## 最近一年間の動き

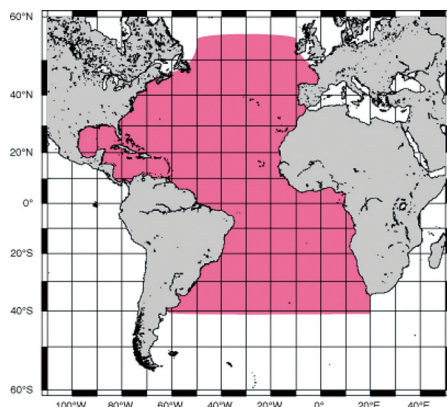
2012 年の総漁獲量は 7.1 万トン（予備集計）で前年の 91% であった。資源評価は 2010 年に ICCAT で行われ、MSY は 9.2 (7.8 ~ 10.1) 万トンと推定され、2009 年当初の資源量は MSY レベルとほぼ同じ ( $B_{2009}/B_{MSY}=1.01$  (0.72 ~ 1.34)) と見られる。資源評価時の最近年 (2009 年) の漁獲圧は、MSY レベルよりやや小さい ( $F_{2009}/F_{MSY}=0.95$  (0.65 ~ 1.55)) と推定された。将来にわたる持続的利用を確実にするため、総漁獲可能量 (TAC) が設定され (8.5 万トン)、主要漁業国には漁獲枠、漁船隻数枠が設定された。メバチ・キハダの幼魚が多く生育するギニア湾における浮き魚礁 (FADs を含む) を利用するまき網の禁漁期、禁漁区域の拡大が導入された。

## 生物学的特性

- 寿命：10 ~ 15 歳
- 成熟開始年齢：3 歳 (120 cm で大部分が成熟)
- 産卵期・産卵場：周年・表面水温 24℃ 以上の海域
- 索餌期・索餌場：特定の海域・時期の報告はない
- 食性：魚類・甲殻類・頭足類、他のまぐろ類よりハダカイワシ・ムネエソ等の中深層性魚類が多い
- 捕食者：大型のまぐろ・かじき類、さめ類、鯨類

## 利用・用途

刺身、すしなど



大西洋におけるメバチの分布

## 漁業の特徴

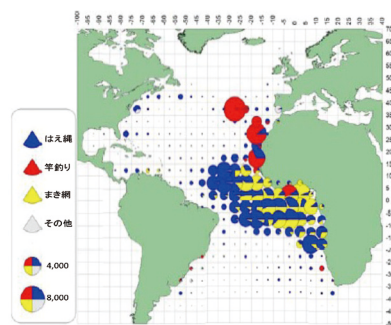
本種は主にはえ縄、竿釣り、まき網によって漁獲されてきた。主として成魚を漁獲するはえ縄が漁獲の大部分を占めてきたが、大西洋は他の大洋と異なり、従来からまき網や竿釣りによる漁獲が比較的多い。まき網が FADs 操業を開始した 1991 年以降、小型魚漁獲が増加した。

## 漁業資源の動向

総漁獲量は 1994 年に過去最高の 13 万トンに達したが、その後徐々に減少して、2005 年以降は 7 ~ 8 万トンで推移し、2012 年の総漁獲量は 7.1 万トン（予備集計）で前年の 91% であった。2012 年現在、はえ縄の漁獲は全体の半数を割り込み (53%)、まき網の漁獲 (30%) が増加傾向にある。メバチの平均体重は、はえ縄で 45 ~ 50 kg、竿釣りでは 20 ~ 30 kg、まき網で 3 ~ 4 kg である。

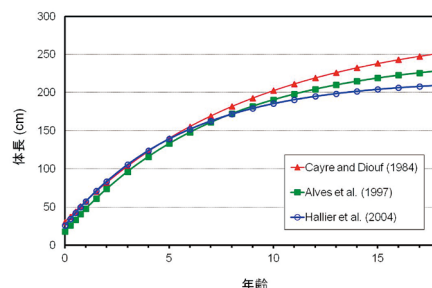
## 資源状態

MSY は 9.2 (7.8 ~ 10.1) 万トンと推定され、2009 年当初の資源量は MSY レベルとほぼ同じ ( $B_{2009}/B_{MSY}=1.01$  (0.72 ~ 1.34)) と見られる。資源評価時の最近年 (2009 年) の漁獲圧は、MSY レベルよりやや小さい ( $F_{2009}/F_{MSY}=0.95$  (0.65 ~ 1.55)) と推定された。また、8.5 万トンの一定漁獲量において、2015 年（資源評価から 5 年目）に資源量が MSY レベル以上、かつ漁獲死亡が MSY レベル以下になる確率はおおよそ 60% であることが示された。



主要なまぐろ漁業による大西洋におけるメバチの漁獲分布 (2010 ~ 2011 年) (ICCAT 2013)

青：はえ縄、赤：竿釣り、黄：まき網、白：その他。凡例の丸は上から 4,000 トン、8,000 トン。



推定成長 (標識放流; Cayré and Diouf 1984、脊椎骨; Alves *et al.* 1998、耳石; Hallier *et al.* 2005)

## 管理方策

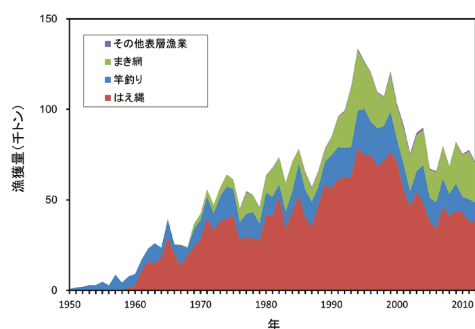
Recommendation TRO 11-01 (ICCAT 2011) に基づき、2012～2015 年までのメバチの資源管理措置が講じられている。漁獲能力制限として、主要漁業国（年間 2,100 トン以上のメバチ漁獲がある国）のはえ縄及びまき網における全長 20 m 以上の漁船における年間操業隻数が決定された。メバチの TAC について、現行枠（8.5 万トン）が維持され、各国の漁獲枠が設定された。従来のギニア湾の一部海域における 1 か月間の表層漁業の禁漁に代わり、メバチ・キハダの幼魚が多く生育するギニア湾における浮き魚礁を利用するまき網の禁漁期、禁漁区域を拡大（アフリカ大陸海岸線～南緯 10 度、西経 5 度～東経 5 度、1 月 1 日～2 月 28 日）しての実施が決定された。まき網や竿釣り船にはオブザーバーの乗船が義務づけられる。2002 年 4 月から、統計証明制度（輸入には漁業国の証明書が必要）が開始されている。

## 資源評価まとめ

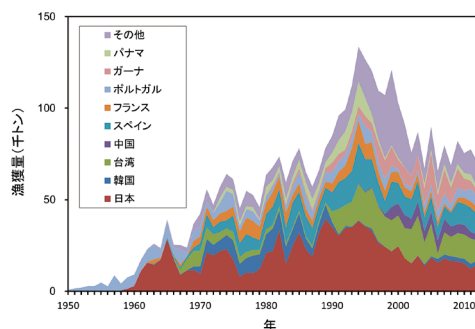
- 資源量は MSY 水準付近
- 漁獲圧は MSY レベルを達成する漁獲圧付近
- 過剰漁獲状態は脱したかに見えるが、主要漁業のはえ縄の CPUE は依然として減少が続き、まき網の漁獲量も再び増加がみられるので、注意深く資源動向を見守ることが必要

## 資源管理方策まとめ

- 主要国の漁獲枠、漁船隻数枠の設定
- ギニア湾における FADs を利用する禁漁期、禁漁区域を拡大（アフリカ大陸～南緯 10 度、西経 5 度～東経 5 度）、1 月 1 日～2 月 28 日）
- 統計証明制度
- オブザーバー乗船（まき網、竿釣り）



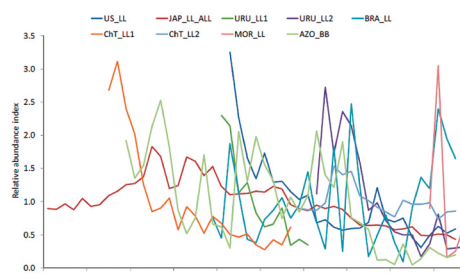
本資源の漁法別漁獲量



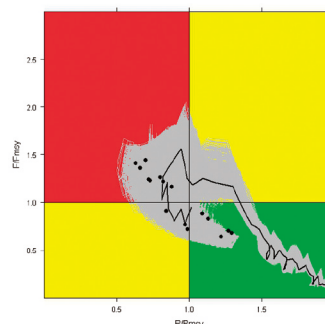
本資源の国別漁獲量

## メバチ（大西洋）の資源の現況（要約表）

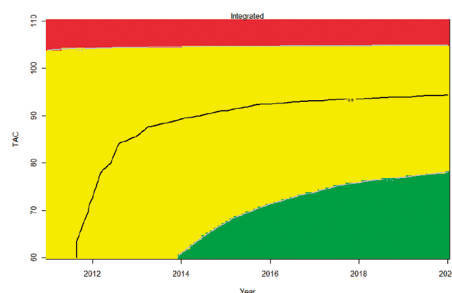
|                      |                                            |
|----------------------|--------------------------------------------|
| 資源水準                 | 低 位                                        |
| 資源動向                 | 横ばい                                        |
| 世界の漁獲量<br>(最近 5 年間)  | 6.9～8.2 万トン<br>平均：7.5 万トン<br>(2008～2012 年) |
| 我が国の漁獲量<br>(最近 5 年間) | 1.2～1.7 万トン<br>平均：1.5 万トン<br>(2008～2012 年) |



各種解析に用いた資源量指数及びそれらを結合した資源量指数 (ICCAT 2011)  
 AZO\_BB：アゾレス諸島の竿釣り、BRA\_LL：ブラジルのはえ縄、ChT\_LL2：台湾のはえ縄 1968-1989、ChT\_LL2：台湾のはえ縄 1990-2008、JAP\_LL：日本のはえ縄、MOR\_LL：モロッコのはえ縄、UR\_LL1：ウルグアイのはえ縄 1981-1991、UR\_LL2：ウルグアイのはえ縄 1992-2008、US\_LL：米国のはえ縄



$B/B_{MSY}$  と  $F/F_{MSY}$  の経年的プロット (ICCAT 2011)  
 プロット周囲の灰色の領域は 80% の信頼区間を示す。



将来の一定漁獲量（図の縦軸：TAC）を仮定した場合の  $B/B_{MSY}$  が 1 以上、 $F/F_{MSY}$  が 1 以下となる確率（赤：<50%、黄：50-75% 及び緑：>75%）の経年的プロット (ICCAT 2011) 実線は確率 60% の等高線。